

浦賀上陸地支局

(昭和三十一年一月八日)

史實調査參考資料報告

所在地	沖繩縣喜屋那郡慶良間列島渡嘉敷村	職官	陸軍中尉	摘要
所屬部隊	海軍陸战队第三戰隊第三旅団	氏名	[Redacted]	終戦時、 モリヲ記ス
支那で 変以以降 二於ケル 自己ノ略 歴	<p>昭和三十一年八月十四日、昭和三十一年九月十日 第十一師団第七聯隊連隊隊附トシテ南支方面決作戦ニ参加 昭和三十一年八月十四日、昭和三十一年八月十五日 海上挺進基地第三大隊本部隊員トシテ沖繩作戦ニ参加 昭和三十一年八月十五日以降、大東亞戰爭終了、復員準備</p>	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス
所屬部隊 ノ編成年 月日及編 制上之準備 概要	<p>昭和三十一年八月十五日、海上挺進基地第三大隊隊員トシテ 経、海上挺進基地第三大隊本部一 隊中隊、三、人員配置表九、二、本 隊中隊一 隊中隊一</p>	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス
所屬部隊 ノ作戦經過 概要	<p>白昭和十九年九月一日至昭和二十一年三月 打、於、爆撃艇ノ運送準備、全東支準備、從事 九昭和二十一年三月一日至三月六日、沖繩天号作戦参加 九昭和二十一年三月七日、三月八日、三月九日、海上挺進基地第三大隊</p>	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス
終戦(又主 力)戦斗 ノ經過 状況	<p>昭和三十一年八月十四日、大東亞戰爭終了、モリヲ、米軍捕獲 ト協定、渡嘉敷島ニ於テ、部隊トシテ武装解除ヲ受 ケ、爾后本島牧野所ニ入リ 昭和三十一年八月十七日、米軍船ニ依リ浦賀港上陸</p>	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス
帰郷(又ハ 連絡)先	[Redacted]	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス
其他、参 考事項	[Redacted]	職	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス	職、並更 及主ナル参 加戦者名ヲ 記ス

732



史實調查參考資料報告

機密

所在地	南滿洲省及朝鮮半島 渡島支隊	職官	陸軍少尉	機密 職官時ノ モリヲ記ス
所屬部隊	海上根拠隊第3隊	氏名	[Redacted]	職変更 及主ナル參 加戰斗及 ヲ記ス
支那事変 以降ニ於テ 自己略歴	昭和二十一年九月一日 - 昭和二十一年九月三日 中隊才士加隊 (勳章四) 補充隊付 昭和二十一年八月三日 - 昭和二十一年八月二十三日 海上根拠隊才士大隊付 - 中隊補充隊才士加		昭和二十一年八月二十三日以前大東亞戰爭終結時ノ復舊準備	職変更 及主ナル參 加戰斗及 ヲ記ス
所屬部隊 編成年月 日及編制 裝備 概要	昭和二十一年八月二十三日海上根拠隊第3大隊編成完結 編成 海上根拠隊第3大隊本部 勳中隊 三 食部隊長等九名 整備隊		昭和二十一年八月二十三日海上根拠隊第3大隊整備隊 編成完結後才士勤務隊才士海上根拠隊才士所屬 昭和二十一年九月一日 - 昭和二十一年九月三日 渡島支隊 渡島支隊才士整備隊才士海上根拠隊才士所屬	最後所屬部隊ヲ記ス尚 其以降所屬部隊ノ分 ヲ記ス
所屬部隊 作戰經過概要	昭和二十一年八月二十三日海上根拠隊第3大隊編成完結 編成 海上根拠隊第3大隊本部 勳中隊 三 食部隊長等九名 整備隊		昭和二十一年八月二十三日海上根拠隊第3大隊整備隊 編成完結後才士勤務隊才士海上根拠隊才士所屬 昭和二十一年九月一日 - 昭和二十一年九月三日 渡島支隊 渡島支隊才士整備隊才士海上根拠隊才士所屬	最後所屬部隊ヲ記ス尚 其以降所屬部隊ノ分 ヲ記ス
終戦(又ハ主力戰斗終了)後ノ狀況	昭和二十一年八月二十四日大東亞戰爭終了後才士整備隊指揮官 ト協定 渡島支隊才士整備隊才士海上根拠隊才士所屬 爾後本島收容所ノ才士		昭和二十一年八月二十三日海上根拠隊第3大隊整備隊	帰還輸送 ノ狀況ヲ記 ス併記ス
帰郷(又ハ連絡)先	[Redacted]		[Redacted]	[Redacted]
其他 參考事項				



史實調査参考資料報告

摘要

所在地	南西諸島(慶良間列島) 渡嘉敷島	職官	陸軍少尉 [Redacted]	戦時ノ モリヲ記ス
支那事変 以降ノ於テ 自己略歴	昭和二六、九、一五、昭和二六、一〇、三一、 中野三三(部隊(輜四)補充隊付) 昭和一九、八、三四、昭和三三、八、二三、日 海上挺進基地ヲ三六隊付トシテ中継作戦ニ参加 昭和二〇、八、三三以降大東亞戦事終結ニ復員準備	職ノ変更 及主ナル参 加戦斗名 ヲ記ス		
所屬部隊 ノ編成年月 日及編制 裝備 概要	昭和一九、八、三一日海上挺進基地ヲ三六隊補充完結 編海上挺進基地ヲ天隊本部 新中隊 一 人員部隊長以下 九〇名 昭和二〇、二、一七、球ヶ崎ヲ編成シテ海上挺進戦隊トシテ大東亞戦時 假編成規定依リテ三勅隊トシテ海上挺進戦隊ニ所属	最後所屬部隊 ヲ記ス、尚 其ノ以降ノ所 屬部隊ノ分 ヲモ記ス		
所屬 部隊 作戦 経過 概要	自昭和一九、九、一〇、至昭和二〇、三、三三、沖繩島丸印渡嘉敷 村ヲ目標ニ戦艦並ニ金島守備ニ従事 自昭和二六、六、三三、至今二六、八、三三、渡嘉敷島ニ在リ 島嶼守備			
終戦又ハ 主力戦 斗終了 後ノ状況	昭和二〇、八、三三、大東亞戦事終了ニシテ半軍指揮官 ト協定 渡嘉敷島の於テ部隊トシテ武装解除ヲ 受テ爾レ本島収容所ニ入ル 昭和二一、一、七、廿船隻ニ依リ浦安港上陸	帰還運輸送 ノ状況ヲモ 併記ス		
帰郷 (又ハ連絡)	[Redacted]			
其他 参考事項				

12

史實調查參考資料報告

所在地 南西諸島慶島附列島

職官

陸軍少尉

職官時ノ  
モノヲ記ス

所屬部隊 海上挺進隊三勅隊

氏名

職、変更  
及主ナル参  
加戦斗名  
ヲ記ス

支那事変 昭和一六、一九、二五、昭和一六、一〇、三一、  
以降ヲ於テ  
自己略歴 中隊第三二部隊(輜四)補充隊付

昭和一九、八、二四、昭和三八、三、三三日  
海上挺進基地第三大隊付上中隊作戦ニ参加  
昭和二〇、八、三三以降大東亞戦争終結ニ復員準備

昭和一九、八、二八日海上挺進基地第三大隊編成完結  
編海上挺進基地第三大隊本部 一人員部隊長以下  
九〇二名

所屬部隊 編成年月  
日及編制  
裝備  
概要

昭和二〇、三、一七、球岩嶺第三海上挺進隊全基地大隊臨時  
假編成規定依リ第三勅隊より第三海上挺進隊ニ所属

最後所屬部隊  
ヲ記ス尚  
其ニ降ノ所  
屬部隊ノ分  
ヲ記ス

所屬

自昭和一九、九、一〇。至昭和二〇、三、三三 沖繩島九師渡嘉敷  
村於テ爆雷艇出撃準備並金島守備ニ従テ

部隊

自昭和二〇、六、二三至今 二八、三三 渡嘉敷島ニ在リ

作戦

島嶼守備

経過

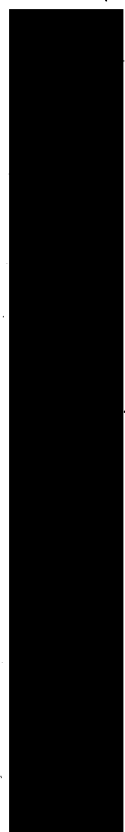
終戦(又  
主力戦  
斗終了)  
後ノ状況

昭和二〇、八、二四 大東亞戦争終了ニシテ半軍指揮官  
ト協定 渡嘉敷島ニ於テ部隊トテ武装解除ヲ  
受テ爾後 本島ノ収容所ニ入ル  
昭和二二、一、七 米船舶ニ依リ浦安港上陸

帰還輸送  
ノ状況ヲモ  
併記ス

帰郷

(又八連絡)



其他

参考事項